

件名	原子炉の運転に関連する主要な機器に極く軽度な機能低下又はそのおそれのある故障が生じたとき (5号機定例試験中の制御棒1本の過挿入について)
通報日	平成24年1月20日
概要	<p>5号機において、昨日22時31分からCR挿入・引き抜き試験(定例試験)を行っていたところ、制御棒(14-27)を全引き抜き(48 pos)から1ノッチ挿入操作を行った際に、46 posで止まるべきところ、挿入状態が継続し、26 posまで挿入された。</p> <p>当該制御棒はアキュムレーター等に異常はなくスクラム機能には問題がないことを確認済み。</p> <p>原因は現在調査中です。</p> <p>状況を確認した結果、制御棒の挿入・引き抜きに必要な駆動水を制御する方向制御弁の不具合によるものと推定しており、念のため、当該制御棒を準備が整い次第、全挿入することにしました。これに伴い、発電機出力が1,030 MW程度まで低下する見込み。</p> <p>その後、他の制御棒が正常であることの確認するため制御棒挿入・引き抜き試験を再度実施します。</p>